

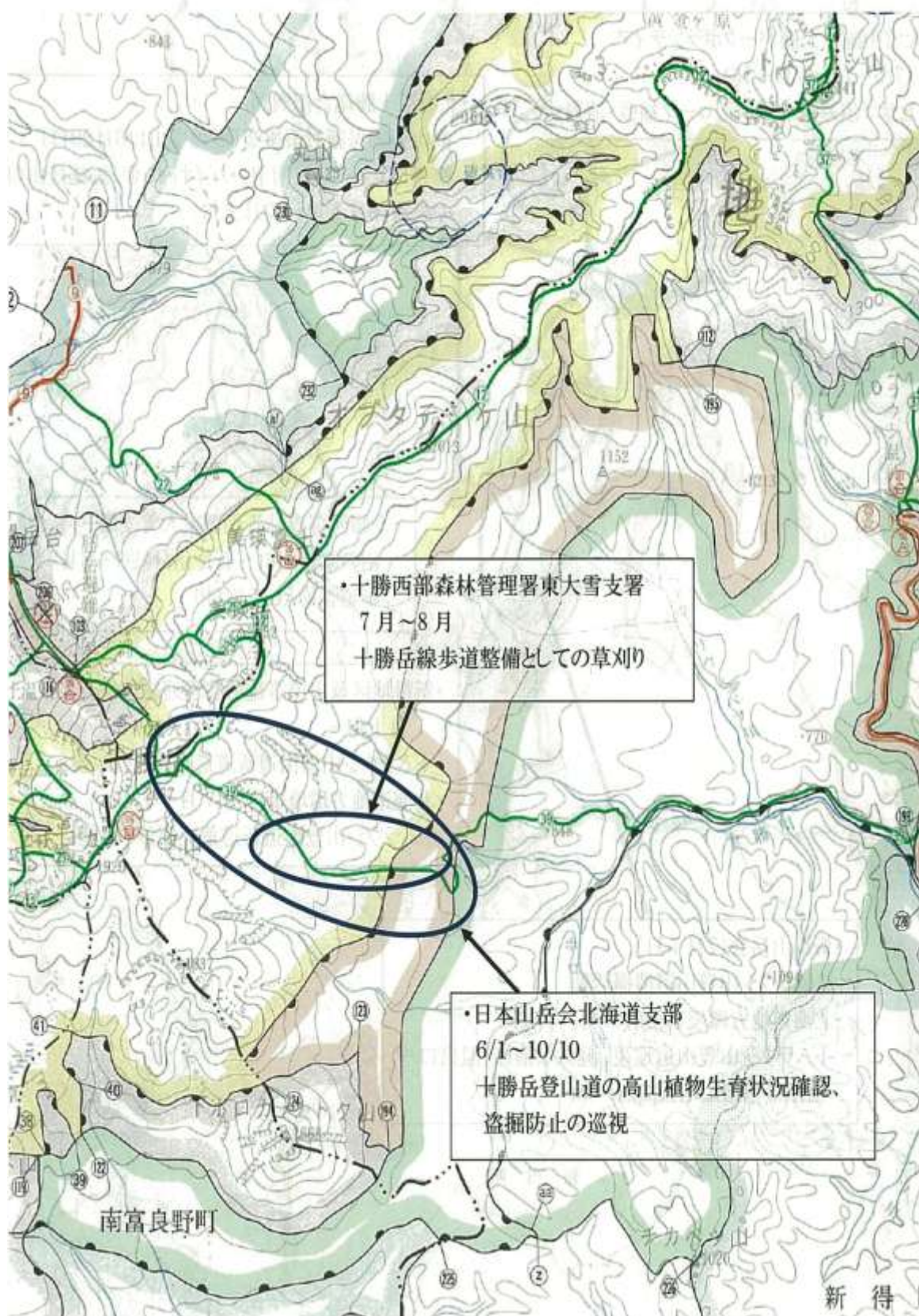
平成 25 年6月20日 大雪山国立公園東大雪地域
登山道関係者による情報交換会

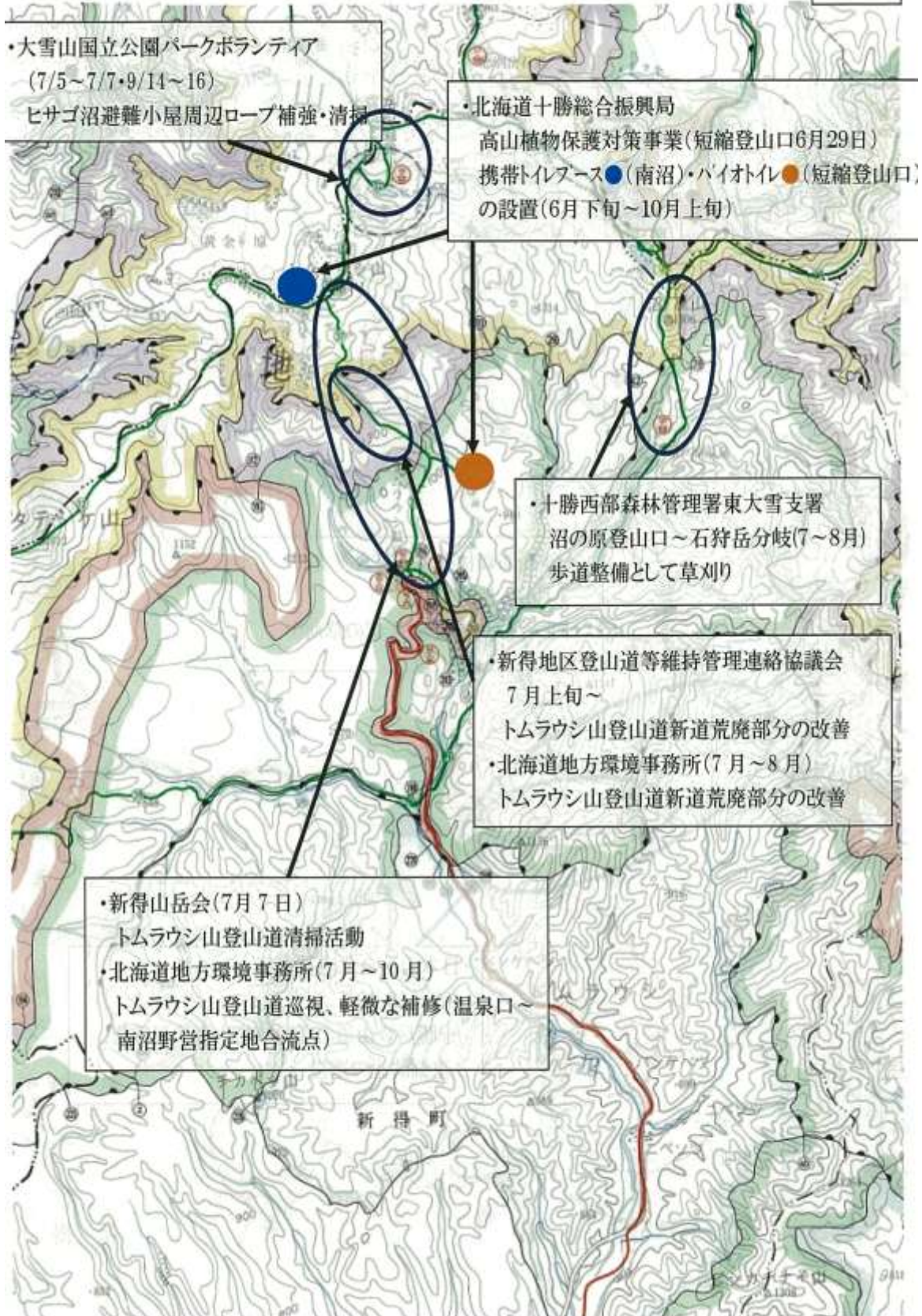
出席者名簿

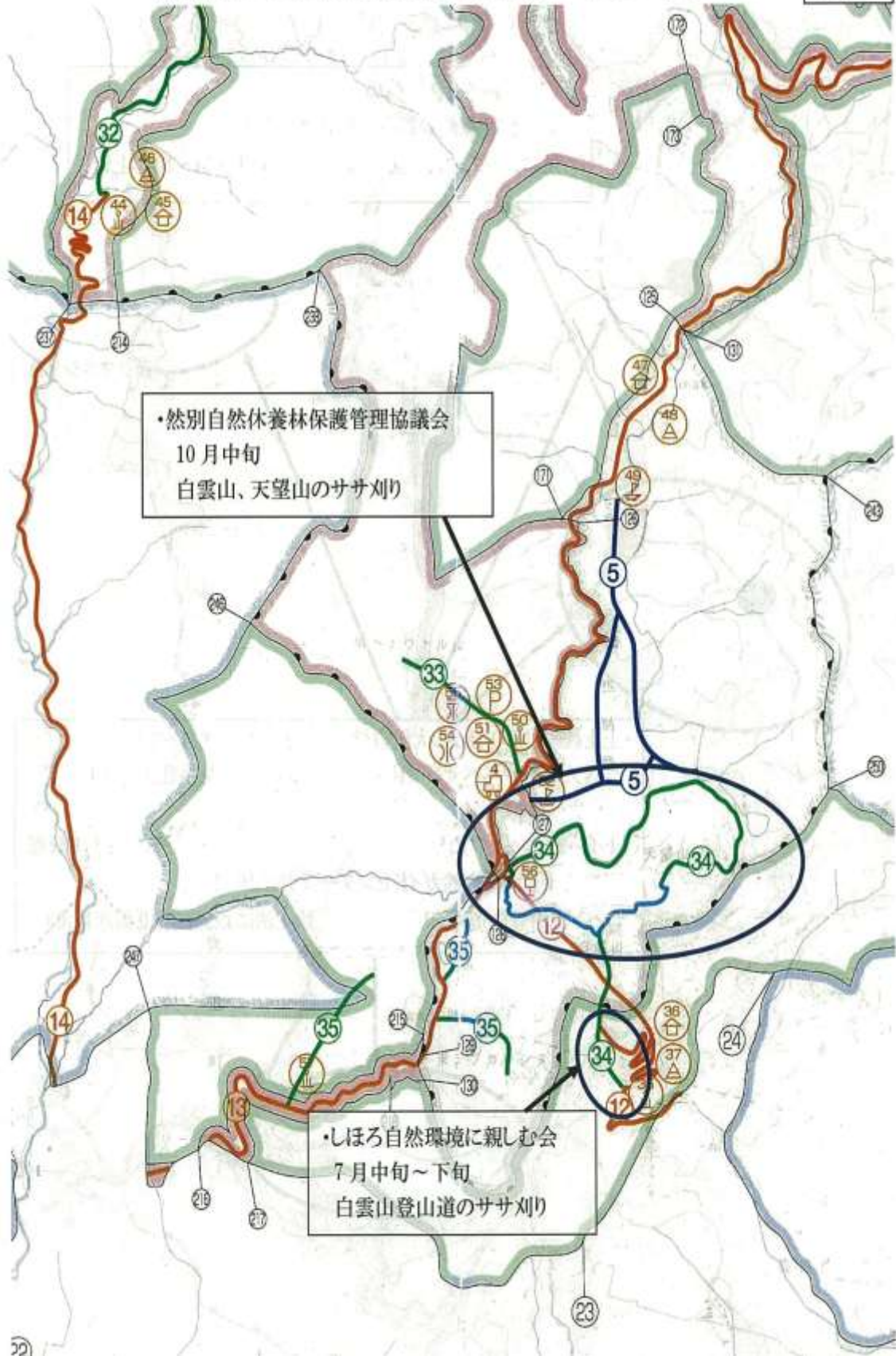
所属	備考
十勝西部森林管理署東大雪支署	
十勝総合振興局	
新得町	
上士幌町	
新得山岳会	
NPO ひがし大雪自然ガイドセンター	
日本山岳会北海道支部	
大雪山国立公園研究者ネットワーク	
山のトイレを考える会	
北海道山岳整備	
上川自然保護官事務所	
上士幌自然保護官事務所	
合計15人	

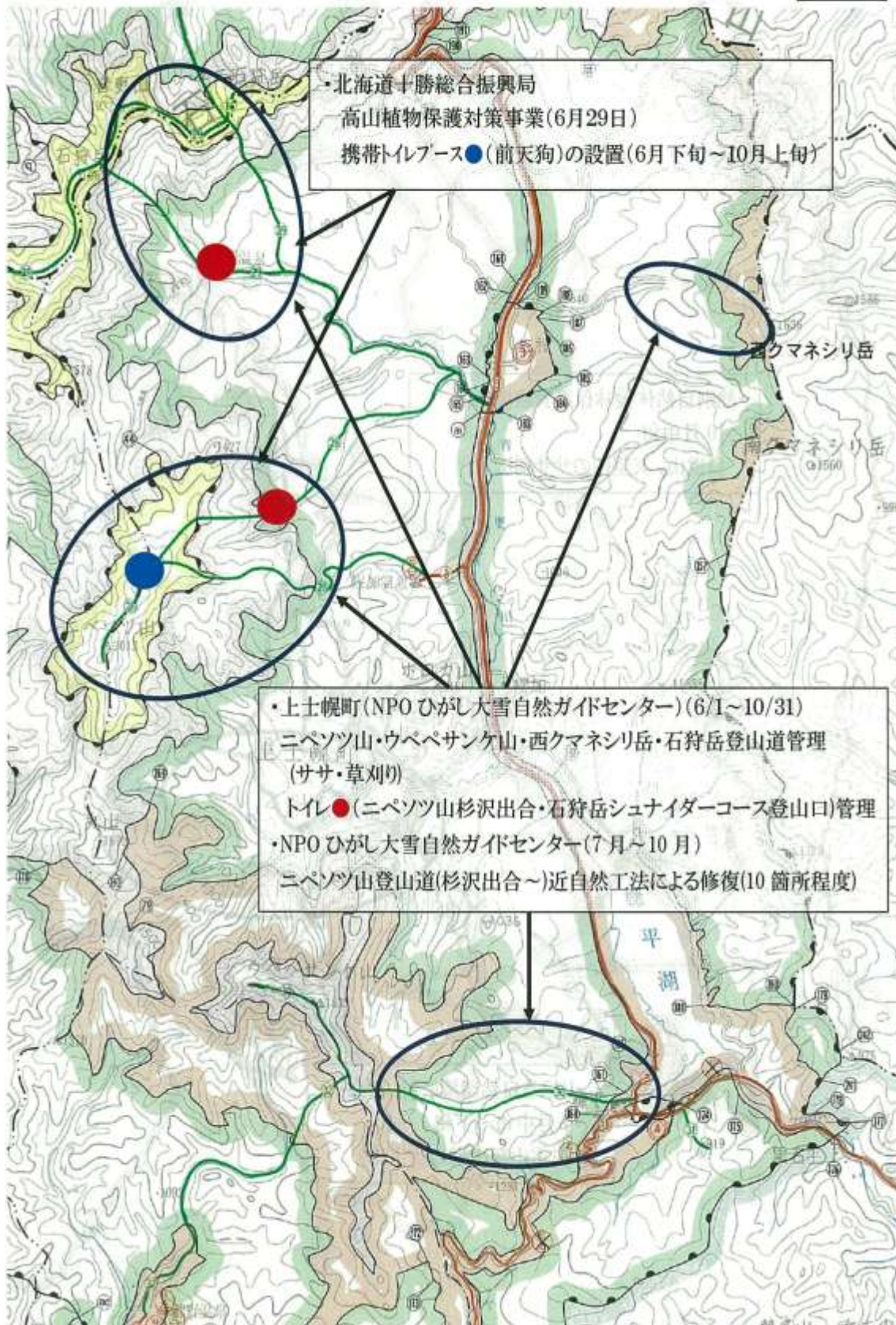
H25年度 登山道作業(活動)予定箇所

所属	作業予定場所	作業予定日・内容
十勝西部森林管理署東大雪支署	①十勝岳・沼ノ原登山口 ②白雲山・天望山	①7月～8月頃・草刈り ②10月頃・草刈り(然別休養林協議会で実施)
十勝総合振興局	①トムラウシ山短縮登山口、ニペソツ山・石狩岳登山口 ②トムラウシ山南沼・ニペソツ山 ③トムラウシ山短縮登山口	①6月29日高山植物保護対策事業 ②6月下旬～10月上旬・携帯トイレブースの設置 ③6月下旬～10月上旬・バイオトイレの設置
新得町	トムラウシ登山道	7月上旬 新道荒廃部分の改善作業 (新得地区登山道等維持管理連絡協議会で実施)
上士幌町	ニペソツ山・石狩岳・西クマネシリ岳・ウペペサンケ山	6/1～10/31 ・ニペソツ山・石狩岳登山口のトイレ管理 ・ニペソツ山・石狩岳・西クマネシリ岳・ウペペサンケ山登山道管理
鹿追町	白雲山、天望山	10月中旬 登山道整備 (然別自然休養林保護管理協議会として実施)
士幌町		
新得山岳会	トムラウシ山	7/7 登山道の清掃
しほろ自然環境に親しむ会	白雲山	7月中旬～下旬 登山道ササ狩り
ボレアルフォレスト		
然別湖ネイチャーセンター		
NPO ひがし大雪自然ガイドセンター	ニペソツ山	7月～10月 登山道の修復
北海道山岳ガイド協会東大雪地区連絡調整室		
日本山岳会北海道支部	十勝岳	6/1～10/10 高山植物の生育状況確認 盗掘防止のための巡視
大雪山国立公園パークボランティア連絡会	別紙の通り ※資料7	ロープ張り、避難小屋の清掃等
大雪山国立公園研究者ネットワーク		
山のトイレを考える会	大雪山の登山口やビジターセンター等	9/8 山のトイレ問題改善の啓発パンフ等配布 清掃登山 登山道整備(美瑛山岳会)の資材運搬補助
北海道山岳整備	未定	・近自然工法による登山道整備 ・近自然工法の記録と啓蒙活動
北海道地方環境事務所	別紙の通り ※資料6	









平成25年度国立公園関連事業

(上川地区)

事業名	事業概要
層雲峡集団施設地区所管施設管理	層雲峡集団施設地区内のビジターセンター、立体駐車場等当省直轄施設について、上川町の協力のもと管理運営を行う（継続）
層雲峡ビジターセンターの修繕	層雲峡ビジターセンターについて屋根の張替等、施設保全上必要な部分的修繕を行う（新規）
層雲峡・石狩川対岸園地の修繕	層雲峡集団施設地区内にある当省の園地が一層活用されるために、自然観察舎デッキ等の修繕を行う（新規）
層雲峡バスターミナル前公衆トイレ等の修繕	層雲峡集団施設地区内にある当省の公衆トイレ及びその周辺にある木柵について、平成24年度の設計結果を踏まえ修繕を行う（継続）
層雲峡プロムナード空地緑化事業	層雲峡集団施設地区中心部プロムナード沿いで、施設撤去に伴い生じた空地について、緑化を実施する（新規）
愛山溪～沼ノ平方面の登山道の巡視事業	当省直轄歩道事業について定期的な巡視を行う（継続）
沼ノ平植生保全対策事業	登山者の踏圧など人為的影響により荒廃した湿原の植生復元・モニタリングを行う（継続）
愛山溪林道沿い国立公園エントランスの再設置	愛山溪林道沿いに設置されていた大雪山国立公園エントランス看板が消失していることから再設置する（新規）
高原温泉ヒグマ情報センター管理	国指定大雪山鳥獣保護区におけるヒグマをはじめとする自然情報の収集・整理・管理を行い、併せてセンターの施設等の維持管理及び部分的修繕を行う（継続）

高原温泉・銀泉台地区利用者指導等（グリーンワーカー事業）	高原温泉・銀泉台地区のマイカー規制期間にあわせて、ヒグマ等に関する普及啓発活動・利用指導を行う（継続）
高原温泉ヒグマ生態分析業務（グリーンワーカー事業）	国指定大雪山鳥獣保護区におけるヒグマに係るこれまでの観察記録等を基に、当該地区におけるヒグマの生息動向・出没傾向等について分析を行う（新規）
上川地区登山道の環境保全等業務（グリーンワーカー事業）	高山植物の盗掘の防止や既存登山道を外れた植生への踏込の防止を行うとともに、登山道における外来植物の分布状況確認・駆除、さらにゴミ・携帯トイレの回収や登山マナーの普及啓発を展開し、併せて登山道等の施設の現況を把握する（継続）
スノーモビル等乗り入れ規制及び普及啓発活動事業（グリーンワーカー事業）	スノーモビル等乗り入れ規制のための監視（地上及び上空からの）活動及び普及啓発を行う（継続）【東川・上士幌地区と連携して実施】
国立公園清掃活動事業（グリーンワーカー事業）	自然公園法第12条に基づく国立公園内（層雲峡）の美化清掃を行う（継続）
パークボランティア事業	①高原温泉における自然解説の補助活動（継続） ②層雲峡園地、愛山溪林道方面、銀泉台方面等におけるオオハンゴンソウ等の外来植物の防除活動 ③スノーモビル乗入れ対策の補助活動等

※平成20～22年の3カ年で沼ノ原湿原の木道約1.5kmを更新する予定だった、ヤンベタツブ五色岳線道路（歩道）整備事業については、平成22年夏の集中豪雨により林道が被災、通行ができなくなったことから、工事が中止されているところ。

（東川地区）

事業名	事業概要
勇駒別園地木道維持管理	勇駒別湿原に設置した周回木道の刈り払いや美化清掃などの維持管理を行う。
東川管内登山道維持管理業務	沼の平姿見の池線道路（歩道）と層雲峡勇駒別線道路（歩道）（間宮岳周辺）の維持管理業務。日常的な点検や補修等、登山道の適正な維持管理に努めるもの。

登山道協働型維持管理の取り組み	表大雪地域及び十勝岳連峰にかかる登山道の維持管理にかかる関係者協働による保全の取り組みを推進する。関係者による情報交換会や講習会を行う。
勇駒別博物展示施設基本・実施設計業務ほか	旭岳温泉地区においてビジターセンター新設（含むエコツーリズムセンター）のための基本設計及び実施設計を行う。
大雪山東川・美瑛地区スノーモビル監視等業務（グリーンワーカー事業）	冬期のスノーモビル乗り入れ監視活動を行い、スノーモビル利用実態及び乗り入れ規制に関する普及啓発活動を行う。東川・美瑛地区として特に幌倉沼と依真布を中心に活動を行う。
大雪山富良野地区スノーモビル監視等業務（グリーンワーカー事業）	冬期のスノーモビル乗り入れ監視活動を行い、スノーモビル利用実態及び乗り入れ規制に関する普及啓発活動を行う。富良野地区地区として特にベベルイ原始ヶ原と南富良野北落合を中心に活動を行う。
美瑛地区登山道協働型維持業務（グリーンワーカー事業）	協働による登山道の維持活動において、一般参加受け入れを支援するための業務。
国立公園清掃活動事業（グリーンワーカー事業）	自然公園法第12条に基づく国立公園内（旭岳温泉及び天人峽）の美化清掃を行う。
パークボランティア事業	①表大雪及び十勝岳連峰における登山道整備活動 ②セイヨウオオマルハナバチなどの外来種の防除活動 ③スノーモビル乗入れ対策の補助活動等

（上士幌地区）

事業名	事業概要
ひがし大雪自然館（糠平ビジターセンター・町連携施設建設）の管理運営	平成25年5月1日オープンの ひがし大雪自然館（上士幌町施設と合築で約1000㎡）の管理運営を、ひがし大雪自然館運営協議会（平成25年3月設置）にて行う。
十勝三股植生復元業務	十勝三股環境省所管地内について、集落跡・土場跡等の植生復元を行うとともに、ひがし大雪自然館と連携して自然再生や旧国鉄（三股駅）跡、集落形成等の歴史について情報発信を行うイベントを企画する。
トムラウシ山新道（迂回路）補	トムラウシ山登山道の新道（迂回路）の泥濘の補修を

修	行う。
トムラウシ山登山道管理委託業務	トムラウシ温泉登山口～南沼までの登山道の巡視及び軽微な補修等の維持管理を行う。
十勝三股園地清掃業務	環境省所管地の清掃・草刈りなどを行う。
然別湖ウチダザリガニ防除 (生物多様性保全推進支援事業 : 交付金)	然別湖生物多様性推進協議会 (H24設置) にて然別湖のウチダザリガニ防除及び普及啓発活動等を行う。
東大雪地区スノーモビル監視等業務 (グリーンワーカー事業)	東大雪地域 (新得町を中心とする) の冬期のスノーモビル乗り入れ監視活動を行い、スノーモビル利用実態及び乗り入れ規制に関する普及啓発活動を行う。
糠平・十勝三股清掃活動事業 (グリーンワーカー事業)	自然公園法第12条に基づく国立公園内 (ぬかびら源泉郷周辺) の美化清掃を行う。
パークボランティア事業	①東大雪地域の登山道整備活動 ②セイヨウオオマルハナバチ及びウチダザリガニなどの外来種の防除活動 ③スノーモビル乗入れ対策の補助活動等

日程	場所	行 事	内容等
4月9日(火)	東川RH	○4月役員会	18時～
5/11(土)～ 12(日)	十勝岳 温泉	○5月役員会 ○連絡会総会(十勝岳温泉凌雲閣)	1日目:総会 2日目:春山研修
5月22日 (水)	上川町	○運営協議会総会	
5月17日 (金)	士幌町	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
6月4日(火)	東川RH	○6月役員会	18時～
6/18日(火)	ぬかびら周 辺	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動	防除活動
6月15日(土) 6月16日 (日)	十勝岳 旭岳山頂～ 間宮岳	●登山道整備 ●登山道整備	ロープ補強、清掃 ロープ補強、清掃
6/17(月) ～21(金)	赤岳	●高山蝶パトロール週間(週2回程度) ※高山蝶の増減傾向把握のためのモニタリン グも含む	密猟防止パトロール
6月30日 (日)	緑岳・赤岳 ・富良野岳	●高山蝶重点パトロール	現地重点パトロール
6/下～7月上 (2回程度)	層雲峡温泉 街	●外来種防除活動(ルピナス等)	防除活動
7月2日(火)	東川RH	○7月役員会	18時～
7/5～7/7	ヒサゴ沼	●登山道整備	ロープ補強、清掃
7月10日 (水)	トムラウシ 山	●登山道整備 ※カムイ天井付近	資材運び
7/16(火) ～19(金)	然別湖	●ウチダザリガニ防除	ザリガニ防除
7月21日 (日)	旭岳裾合	●登山道整備	ロープ補強、清掃
7月	愛山溪	●登山道整備 ※当麻乗越近く	登山道ササ刈り
7月下旬	愛山溪	●登山道整備 ※沼の平半月湖周辺	ロープ柵張り
8月4日(日)	層雲峡 旭岳温泉	●自然公園クリーンデー	清掃活動

	白金温泉 天人峡 ぬかびら		
8月6日(火)	東川RH	○8月役員会	18時～
8月中～下旬	旭岳周辺	●セイヨウオオマルハナバチ防除活動週間	防除活動
8月中～下旬	銀泉台入口 ～コマクサ 平	●外来種防除活動(オオハンゴンソウ、フ ランスギク、セイヨウオオマルハナバチ等)	防除活動
9月3日(火)	東川RH	○9月役員会	18時～
9月14～16 日	ヒサゴ沼	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
9/中～下旬	高原温泉沼 巡りコース、 赤岳銀泉台	●マイカー規制対応 ※土日祝日+平日2日程/週	自然解説活動、 受付補助
9/28(土)	十勝岳	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
9/29(日)	旭岳山頂 旭岳裾合	●登山道整備	ロープ緩め、清掃
10月1日 (火)	東川RH	○10月役員会	18時～
10/中旬	然別湖	●然別自然休養林登山道整備	登山道ササ刈り
10/中旬	然別湖	●ウチダザリガニ防除	防除活動
1月中旬	旭川市内	○1月役員会および新年会	
2月中旬	場所別途	○冬期研修会	
2月下旬又は 3月上旬	愛山溪他	●スノーモビル等乗入れ規制合同パトロール	
年間		●事務所行事への協力(観察会・フォーラム など) ●層雲峡VCにおける来館者への自然解説等	

○：役員会・研修会等 ●：行事等

2013年2月27日(金)
NPO 法人山の ECHO

“「山はみんなの宝」憲章、及び大雪山”入山者ルール“に関する意見交換会”

意見交換会 議事要旨

日時	2013年2月27日(水) 13:30~16:40
場所	北海道上川総合振興局 4階展望会議室
出席者	・大雪山関係者(配布資料の参加者名簿参照) ・事務局:NPO 法人山の ECHO (2名)

■参加者からの発言 抜粋

- 登山道の荒廃に関する管理水準を設定している。山への心構えを設定し、来た人が全員楽しめるように、自己責任と事故防止を徹底すべきである。
- 各団体はマナーガイドを配布しているものの、発行から長い期間が経過している可能性があり、登山者や各団体窓口に無い可能性もある。現在はインターネットを通じてなど、情報入手の手段も変わっている可能性もあり、検討する必要がある。
- 山のトイレマナーガイドなど、ガイドブック自体が大きいと山へ持ち込む事が嫌がられるようなので、山ガールを意識した女性向けデザインのガイドの作成、アウトドアショップなどにも置かせてもらう、などの工夫が必要。
- マナーガイドは観光パンフレットとは別に登山の案内を作成していることもあり、一緒にすることも必要。
- 上川では「山の利用の在り方検討会」を年4~5回開催している。入山利用の協議をしたが利用者が多く、個人負担や責任などについても考えており、今後検討が必要。
- パンプは種類が多いのに、無くなったときの問い合わせ先、がない。

■意見交換内容 抜粋

□入山準備について—————

- 情報へのアクセスを考える。例えばスマホ対応、ネット対応などで今さら紙媒体は不要と考えられる。さらにアジア系が増加している事も有、他言語化、レンタカー移動(観光目的)なども考慮する必要がある。これら内容を1つの冊子に決定版として作成する。

- 情報収集源は昔だと Lonely Planet であったが、現在は多様化している。問題は問い合わせ、ルールなどがパンフごとに異なっている場合。(携帯トイレを使え、携帯トイレを使いましょう、安全の為ストック使え、植生を考えストック使うななどの記述あり。しかし問合せ先不明)。
- 最近では外国人だけでなく日本人も情報に触れていないケースもある。危険なときに指示したり服装など注意しても、難しい。客だから注意しきれないところもある。ただし、トムラウシの事故以来、悪天候などで登山をする人が減った(慎重化)。しかし外国人が相変わらず服装等も軽装で危険がある。
- マナー、ルールのお願について、前提としての心得やルールがあるのだが、パンフでは浸透していかないため、今後はテレビで周知する、など異なった手法が必要かもしれない
- 山ガールなど、新たな利用者層が増加している。大雪山は男女、家族連れ、共に増加している。ただし、山岳団体は山 Boy/Girl 共に若年層は増えず、高齢化している。

□自然保護—————

- 登山道より林道で蝶を取る行為が目立っている(層雲峡)。林道に水を撒く、餌まきをしているケースがあり熊が寄ってきており危険な状態であるが、当事者は罪悪感が無い様子である。蝶は1つ3万円でネット売却しているらしい(天然記念物でないので規制できない)。これらを取り締まる根拠が難しく、お願いベースでしかできない。特別保護地区で怪しい動きしているのは卵取りが多い。ペンションなどでは餌の売り場、蝶の取り方をしている(*釣り吉三平の漫画家が紹介していることも一因)。
- 昆虫採集に比べ、高山植物の盗掘は少なくなっている。外来種の駆除により、リリシリヒナゲシ、オオマルハナバチなどが影響している。

□行動制限—————

- トイレイルランニングについて、特別地域を通過する場合、大雪山では徒歩のみ(ファーストトレッキング)となっている。ただ、ルートが認められていない場所もコースとして入っている。山を自転車で移動するクロスカントリーなどは多くはない。
- ストックについては雪溪が多いので、安全上使用してほしい。ただ、キャップが抜けやすい(利尻ではキャップをつけてくれとお願いしている 土嚢整備のため)点は注意が必要。12~13年、年配の登山客もいる為、使った方が良い。

□入山料/有料トイレ—————

- トイレは看板を設置しているが、管理人いない場所がある点が問題。
- 国立公園などはIDを発行して使いたい人に配布などのアイデアが必要。

燃費について、トイレ側に太陽光発電を設置するのはどうか。

- 朝日岳の例として、札を入れておく、中身が見えるハコにするなどのアイデアがある。ただし、トイレの利用人数をカウントするのは難しい。入山料とおひねり BOX。
- 屋久島の例として、入山料は施設利用料として明確に徴収している。限られた場所でしっかり徴収する事が必要。使い方が限定していれば分かりやすい。
- 環境に支払うという発想も重要だが、そこを利用している人が楽しむ為に支払うという考え方もある。

□ペット連れの登山者—————

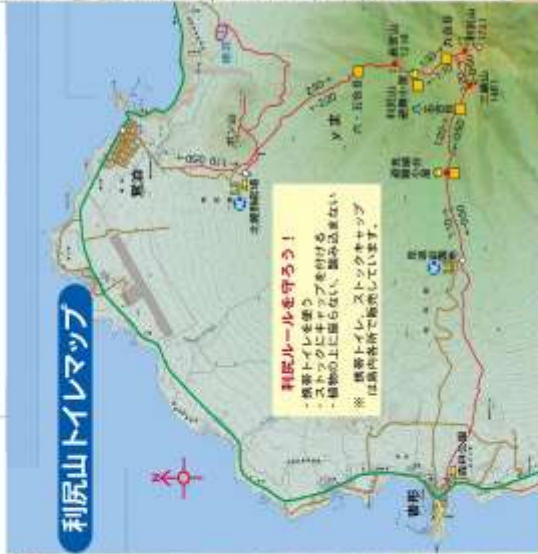
- ロープウェイは禁止、かごに入れても問題ない。病気の問題がある。イヌ嫌いがいたら抱きかかえてもらう。法的にはルールさえ繋がってればさんもセーフとなっている。

■意見交換会のまとめ意見 抜粋

- マナーはとにかく繰り返し協議していく事が大切である。
- 啓発用のパンフレットは各団体でも内容には統一感を持たせたものを作りたい
- 主体的な市民による管理金体制が必要で、今後も協議会は実施していく。利用されている方が関わると意識が保全につながる。
- 受け皿を作り、各市町村担当者などに、小屋やトイレだけにつかう協力金をもらう。
- 登山者の案内について パンフレットを統一的なものにして PR していく。
- 入山者の事故責任はスキーやスノボについても規制するべきである。
- 登山ガイドを資格のように、登山者と山のレベルを一致させる必要がある。
- 携帯電話がどこで繋がるかを知らずにスマートフォンのみで山に登る層が出てきている。今後も登山の常識も変わり続けるため、情報を更新できる仕組みづくりが必要。
- 施設の維持管理 予算も無いので緊急的なものを優先して実施し、協力金で維持管理をする。
- 先進的な取り組みがはじまっていると感じた。登山道の管理については既に会議がはじまっているが、それに絡めてルールなどの話を進める必要ありまたこういう機会を持ちたい。



十勝連峰トイレマップ



利尻山トイレマップ

利用ルールを守ろう！
 携帯トイレを携帯する場合は、
 ・ゴミ袋に入れて持ち帰る。
 ・植物の上に置かない、踏み込まない。
 ※ 携帯トイレ、ストックキヤップは、
 は市内各所で販売しています。



北海道 山のトイレマップ
 大雪山・十勝連峰・利尻山

もうすぐだよ
 トイレ どこかしら？

山のトイレを調べる会 <http://yamatoilet.jp>
 2013.7 作成

携帯トイレ回収BOXとは？
 使った携帯トイレを回収する箱です。登山口や市町村で設置しています。使用済み携帯トイレは市町村で分別して処分しています。

携帯トイレブースとは？
 市町村の携帯トイレ回収BOXにペタンク缶製の携帯トイレブースを身に掛す場所です。テント型と固定型があります。主に北海道や市町村で設置しています。



知床(羅臼岳)トイレマップ

携帯で北海道の山トイレ情報が見られます

ブックマークに登録してね！

<http://yamatoilet.jp/i/yamatoilet.htm>

山のトイレを考える会事務局
 〒080-8589 札幌市北区北9条西9丁目
 北海道大学農学部内 担当：豊平
 TEL/FAX 011-706-2452
 Email: hokkaido@yamatoilet.jp

本マップは全労済市場員協働事業で作成しました



大雪山トレイルマップ

本マップの情報は夏山シーズンのものです

この地図は山形県産産の地図データを使用しました。

- 丸山
- トイレあり
- 標高の値
- キャンプ指定地
- 国産トレイルボックス 2000〜日帰り乗換可能 5000〜一泊可能乗換可能

始まりと終わりの標高年。



ニペソツ元年
2013_m



大雪山国立公園内に位置し、
丸みを帯びた北海道の山々が多い中、
鋭いアルペン的な山容を誇るニベソツ山。
高度2013mと東大雪の秀峰で
石狩連峰とウベベサンケ山に挟まれた
独立峰的な存在である。

「日本百名山を出した時、私はまだこの山を見ていなかった。
ニベソツには申し訳なかったが、その中に入れなかった。
実に立派な山であることを、登ってみて初めて知った。」
と日本百名山執筆の深田久弥氏が執筆後に登頂し
幻の日本百名山と言われており、
その後、深田クラブにより日本二百名山に選定された。

◆標高年事業について（予定）

- ・頂上標、路程標識の更新
- ・札幌市にてアウトドアフェスの開催
- ・2013年記念 登山証明書の発行
- ・フォトコンテストの実施
- ・記念講演会、フォーラム実施
- ・山行記の募集
- ・環境整備の充実（山岳トイレ、登山道等）

お問い合わせ

上士幌町観光協会

電話 01564-2-2111 fax01564-2-4637

mail syoukoukankouka@town.kamishihoro.hokkaido.jp